

この時間のねらい：① 流れ図の作成を練習しよう。

①流れ図の復習

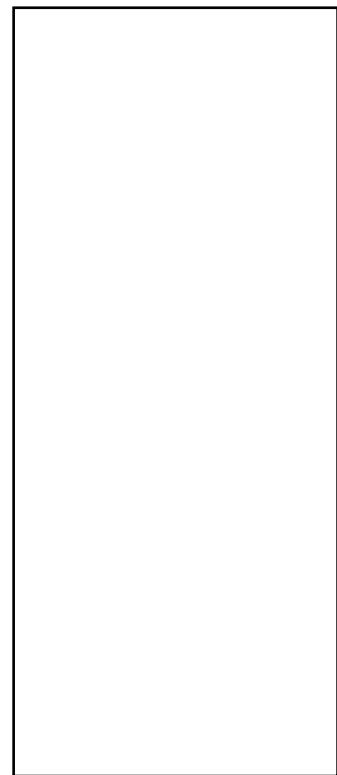
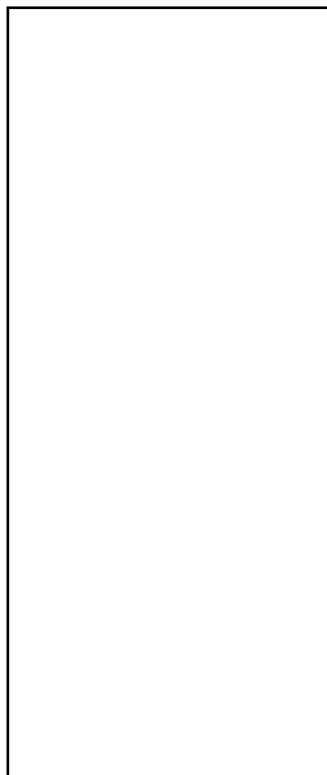
流れ図とは、前回学んだものでプログラムの流れを目で見たときにわかりやすくしたものです。

記号に関しては前回のプリントを参照しましょう。今回は実際に、日常生活で動いているものに関して、流れ図を書く練習をしましょう。

(1)信号機

(2)目覚まし時計

(3)音楽プレイヤー



3 つの流れ図の一例はこのようになります。(あくまでも一例です。)

また、それぞれは最低限の機能を付けたものに関する流れ図になりますので、ほかのいろいろな機能がついているものを自由に考えてみれば、流れ図を書くのも楽になるはずです。(例えば、スマートウォッチなどです。)

最近では、IoT(Internet of Things)という、モノのインターネットが叫ばれておりますので、皆さんが、多くの機能を搭載した開発をするためには、なくてはならないスキルの一つですので、ぜひできるようになってほしいです。